

令和4年12月定例会市議会市政報告

令和4年第5回釧路市議会12月定例会の開会にあたり、9月定例会以降の市政の概要についてご報告申し上げます。

最初の報告は、「**新型コロナウイルス感染症への対応**」についてであります。

新型コロナウイルス感染症につきましては、10月中旬以降から感染拡大傾向となり、第7波を上回る勢いで感染が広がっております。

11月6日にクラスターが発生した市立釧路総合病院では、速やかに入院患者のゾーニングや入院・外来制限等を実施し、同月23日から通常の診療を再開いたしました。

新型コロナワクチン接種につきましては、各年代別にそれぞれ接種体制を構築し、接種を加速しております。

現在、道内で感染の主流となっているオミクロン株は、感染拡大の速度が非常に速いことが特徴となっておりますが、基本的な感染対策が有効であり、また、ワクチン接種には発症や重症化を予防する効果があるといわれております。

今年の冬は季節性インフルエンザの流行も懸念されている中、医療のひっ迫を避けるため、今後も引き続き、3密の回避、マスクの着用、手洗い、換気等の基本的な感染防止行動の実践を呼びかけるとともに、ワクチン接種について、年内に希望する方への接種を完了させることができるよう、接種体制をしっかりと確保しながら推進してまいりたいと考えております。

報告の第2は、「**台湾との交流**」についてであります。

台湾との交流につきましては、長引く新型コロナウイルス感染症の影響により、北陽高校の見学旅行をはじめとする取組を断念せざるを得ない状況となっておりますものの、去る10月11日からの水際対策の大幅な緩和を受け、交流促進のための取組を再開すべく、来年1月9日（月）から13日（金）の日程で、関係者の方々と台湾への訪問を実施することといたしました。

訪問内容としましては、本年8月に友好交流協定を締結した花蓮市を表敬訪問し、今後の交流に向けた意見交換を行うほか、貸与しておりますタンチョウのつがい「ビッグとキカ」のヒナ誕生に合わせた台北市立動物園への訪問とともに、台北市文山区をはじめ北陽高校見学旅行の交流校となる「景文（けいぶん）高級中学」「木柵（もくさく）高級工業職業学校」を訪問いたします。さらには、今後、石炭に関わる調査研究・教育普及の取組を通じ日・台の交流を深めるため、台湾炭鉱博物館との友好提携を締結する予定となっております。

ります。

あわせて、観光協会や観光関係者の方々が中心となり、台北市立動物園内での観光PRや、これまでにつながりのある現地旅行会社との商談の実施により、台湾からの誘客促進に努めていくとともに、今後の観光振興、さらには交流人口の拡大、地域の活性化につなげてまいりたいと考えております。

報告の第3は、「アドベンチャー・トラベル・ワールド・サミット（ATWS）2022への参加」についてであります。

アドベンチャートラベルの国際商談会であります「アドベンチャートラベル・ワールドサミット2022」が、去る10月3日から6日までの4日間、約800名の参加のもと、スイスで開催され、ATWS（エー・ティー・ダブリュー・エス）北海道実行委員会の副会長として、私も参加してまいりました。

サミットの開催期間中は、来年の北海道開催に向け、運営状況等の視察を行うとともに、サミット最終日のクロージングセッションにおいて、各国からの参加者を前に、次期開催地のPRを行ってまいりました。

この度の参加においては、サミットの主催団体のトップをはじめ、各国からの参加者より、来年9月に北海道で開催されるサミットに対する期待や関心の高さを実感したところであり、サミット終了後に釧路エリアで催行される視察旅行の準備をしっかりと進めてまいりたいと考えております。

報告の第4は、「工事発注状況」についてであります。

本年度の建設事業の発注予定額は、約99億2千万円となっており、11月30日現在における発注済額は約95億6千万円であり、発注率は、96.4%となっております。

このうち、地元企業への発注は、金額で約83億7千万円、率ではおよそ87.6%となっております。

主な建設事業別の発注率につきましては、道路事業が約75%、上水道事業で約98%、下水道事業で約94%、住宅建設事業は約99%の状況となっております。

以上で、市政報告を終わります。